



# 喜多流自主公演

平成二十九年九月

平成29年 9月24日(日)

12:00開演(11:00開場)

「十四世喜多六平太記念能楽堂」

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後座席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人「十四世六平太記念財団」

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁(平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)



阿 半 経

漕 蔀 政

出 友 谷

雲 枝 大  
康 真 作  
雅 也

## チケット予約購入のご案内

### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

### 【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

#### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL.03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

### 【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

#### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

#### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL.03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

### 【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

## ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

## 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分会でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ・ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。昔年能には使用できません。

## 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階後座席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

## 会場案内図



東横線・京浜東北線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
※当能楽堂は駐車施設がございませんので、お車での来場はご遠慮いたします。

「十四世喜多六平太記念能楽堂」

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>



能

経政

シテ平経政の業 谷 大作

シテ有徳 宝生欣哉

大鼓 佃 良太郎  
小鼓 飯富孔明

内湯慶三

後見 友枝昭世  
佐藤章雄

地謡 渡辺康喜 高林叫二  
佐藤寛泰 狩野了一  
栗谷浩之 栗谷明生  
友枝雄太郎 内田成信

狂言

腰祈

シテ根又 野村萬歳

アト山伏 飯田 豪  
小アト太郎冠者 岡 聡史

休憩(二十分)

能

半部

後シテ夕顔の上の縁 前シテ里女 友枝貞也

アト前 御厨誠吾

大鼓 柿原光博  
小鼓 住駒充彦

小野寺竜一

後見 香川靖嗣  
塩津哲生

地謡 金子龍晟 松井 彬  
佐々木多門 中村邦生  
友枝雄人 大村 定  
谷 友矩 長島 茂

休憩(十分)

仕舞

天鼓

塩津圭介

進音 佐藤 陽  
大島輝久  
大島政允  
佐藤寛泰

能

阿漕

後シテ阿漕の法 前シテ漁翁 出雲康雅

ソコ旅人 大日方 寛  
アト進音 館山善博  
ワキ進音 野口能弘  
アト可漕の浦人 内藤 連

大鼓 國川 純 太鼓 小寺佐七  
小鼓 鶴澤洋太郎 前 藤山朝太郎

地謡 高林昌司 栗谷充雄  
佐藤 陽 金子敬郎  
塩津圭介 栗谷能夫  
狩野祐一 大島輝久

附祝言

終了予定時刻 四時三十分頃

経政(つねまさ)

京都の仁和寺御所に仕える僧侶の行儀は、守覚法親王から、谷の台職で源氏に討たれた平経政の霊を慰めるために甲いをするように命合される。経政は経政の名子であることから守覚法親王に寵愛され、名諱「青山」という経政を下賜されたが、西園落ちの前に青山を仁和寺に預け置いた。行儀はその琵琶を供え、管絃講をもつて回向をする。するとその夜更けに経政の霊が現れるが、声のみ聞こえ姿は見えない。経政の霊は懐かしそうに青山の琵琶を弾き舞いを舞う。しかし暫くすると、惨憺の苦しみが襲い灯火の中に姿を現わす。自分の姿を恥ずかしく思った経政は灯火を吹き消し、消えてゆくのであった。

(約四十分)

腰祈(こしいのり)

修行を終えた山伏が本国へ帰る途中、祖父を訪ねる。祖父ははりっぱになった山伏もまだ幼子のように見え、山伏にはすっかり年老いて腰の曲がった祖父の姿がなんとも気の毒で仕方がない。そこで山伏は、こんな時こそ修行の成果をとばかりに、祖父の腰を伸ばそうと懸命に折り返めるのだが、孝行な山伏が、お祖父さんのために大奮闘するが、さて、祈祷の効果は。

(約十五分)

半部(はしとみ)

京都の紫野に住む僧が、一旦安所の修行を終え、草花を集めて立花(うりつか)を供え、早木の集養を行っている。すると、どこからともなく若い女が現れ白い夕顔の花を捧げて、昔五条通りに住んでいたと古い残して花の陰に消え去る。(中人)僧がその言葉に従って五条あたりまで赴くと、夕顔の花の館んだ半部戸を下ろした建物から夕顔の帯が現れる。そして光源氏に夕顔の花を折って白い扇にのせて差し出した縁で光源氏と結ばれたときの話をして舞を舞い、やがて半部戸の奥に消えて行く。

(約八十五分)

阿漕(あこぎ)

秋風の中、日向岡から伊勢神宮の参拜にきた旅人が、阿漕が浦へとたどり着く。そこに迫りかかった漁翁と口業を交わし、土地に縁のある古歌などについて語り合う。漁翁は、この阿漕が浦は伊勢神宮に供える魚を獲るための禁猟域であったが、ある男が毎晩隠れて網を下ろしていたのが露見し殺されてしまった話をし、自分こそがその男であると明かす。すると急に海が暗くなり荒れて燈火も消え果て、申って欲しいと恐ろしい叫びを残して闇の中にその男は消え失せた。(中人)旅人が叩きをする、やつれ果てた鯛の漁師の亡霊が現われ、執心の網を添って魚を獲る様を見せ、地獄の苦しみを受ける有様を語り、旅人に助けを頼みつつ再び海の底に消え失せるのだった。

(約八十分)

平成二十九年十月自主公演番組予告

平成二十九年十月二十二日(日) 正午始  
十四世喜多六平太記念能楽堂

松虫 栗谷充雄  
井筒 内田安信  
大会 友枝雄人